



Weekly Report

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

創 立:1980年(昭和55年)1月10日
会 長:遠山 堯郎
幹 事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~
会 場:ヒルトン名古屋
事 務 局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
T E L:052-211-3803
F A X:052-211-2623
M A I L:2760nagoya@mizuho.rc.jp
U R L:http://www.mizuho.rc.jp/

第1289回例会

新世代のための月間

2006年9月21日(木) 晴 第11回

司 会:(松岡道弘会場委員)
齊 唱:「それでこそロータリー」
ゲストスピーカー:NPO法人日本車いすダンススポーツ連盟理事
恒川 陽子様

ゲ ス ト:名古屋熱田RAC
2006~07年度会長 古屋佳菜子さん
前年度会長 南 興助君

ビ ジ タ ー:あまRC 水野 真君 他1名

会長挨拶

遠山堯郎会長

自民党総裁選挙が終わりました。積み残した外交は勿論、教育、年金、格差の是正を含めて改革して戴きたいと思えます。私が最近読みました本に、現代のビジネスマンには、何が必要なのか。特に指導者となる人間には、何が要求されるのか?という内容でした。第一は「問題分析力」さまざまな情報や問題を分析し、物事の本質を見極める能力。第二は未来社会をビジョンとして描き、それを形あるもの作っていく、すなわち「未来想像力」。そして第三が「人間関係能力」だそうです。過去の名経営者たち、松下幸之助、永野重雄、土光敏夫、新藤 恒などはみな一様に叱り方がうまかったが、一方では、褒め上手だったそうです。厳しさの中に優しさを同居させて、そうした人間関係能力で人の心をつかんでいったそうです。こうした先輩たちのやり方を実践してきた人、牛尾治朗氏ば「現代のような時代には自分のことさえ整理がつかず、自分自身を見失っている人が多い」と言っています。牛尾氏の官界、政界、経済界に広がる人的ネットワークは、その辺に秘密がありそうです。そうした人間関係を持続させるためには、長期間にわたってお互いが、その年齢に応じた情報交換することが非常に大切だと言っています。瑞穂RCの平均年齢は高くなってしまいましたが、何歳になっても、クラブ内は勿論、友人、知人のネットワークを生かして、人間的成長をストップさせてはいけません。『老いを迎えて討て』と言う東京都知事・石原慎太郎のように、70の域を超えて成長を続けている人がいるかと思えば、50代になると勉強心を捨てて、過去の人間関係だけで生きて行く人もいます。成長することを放棄してしまった人には、長き人間関係は持続できないと肝に銘じるべきだと言っています。私にとっては、この本が良い勉強になりました。私は、地区新世代委員会へ出向させて頂いていますが、今年9月9日は、来年3月開催されるライラセミナーの臨時委員会がありました。テーマは「将来の日本」に決まりました。良いテーマですが、その前に、日本の素晴らしい過去の認識をライラ研修生に教えることも必要ではないか!という意見が多くを占めていました。これから実施に向けて検討がされると思います。



出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員73名 出席54名 (出席計算人数54名)

出席率74.07%

9月14日は補填により 90.74%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	10/4(水)			10/25(水)
名古屋守山		10/11(水)		10/25(水)
名古屋みなと				10/27(金)
名古屋東南		10/11(水)		
名古屋中				10/23(月)
名古屋和合				10/25(水)
名古屋名東	10/3(火)	10/10(火)	10/17(火)	10/24(火)
名古屋名北			10/18(水)	
名古屋千種		10/10(火)		10/24(火)
名古屋大須			10/19(木)	10/26(木)
名古屋栄		10/9(月)	10/16(月)	10/23(月)
名古屋名南			10/17(火)	10/24(火)
名古屋昭和	10/2(月)	10/9(月)	10/16(月)	
名古屋西南		10/12(木)		10/26(木)
名古屋東山				10/26(木)
名古屋空港		10/9(月)	10/16(月)	
あま			10/16(月)	
名古屋清須		10/10(火)		
豊山一城北		10/10(火)		

(注) は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
はサイン受付時間が17:00~18:00となります。
はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ポール・ハリス・フェローの認証状伝達式

ポール・ハリス・フェローになられた小串和夫君に遠山会長より認証状が授与されました。



NPO日本移植者協議会東海支部から感謝状

9月18日(月)に、市内23RCの社会奉仕委員会からNPO日本移植者協議会東海支部へ活動資金として、100万円を贈呈いたしました。そのお礼として感謝状を頂きました。



感謝状受領式の様子

・遠山会長を応援に、貴クラブを訪問出来た喜び

名古屋清須RC 藤井 忠君

・今日は誕生日です。新首相と同じ日です! 岡村 達人君

・?回目の誕生日を9月26日に迎えます。小串 和夫君

・9月28日は結婚記念日でした。何年目かは忘却の彼方です。天野 正明君

・敬老の日の記念日に、大変立派なお菓子を送っていただき、美味しく頂きました。有り難うございます。嶺木 一夫君

・無事香港から帰ってきました。堀 慎治君

・お彼岸の入り、やはり涼しくなりましたね。江口金満さん、情報有り難うございました。岩本 成郎君

・9月16日、本多さんにチケットをいただき、家内とナゴヤドームへ行きました。小学生の頃から数えると数百回見ていると思いますが、ノーヒットノーランは初めてです。久しぶりに手が赤くなるほど拍手しました。本多さん、山本昌投手、ありがとう。増田 盛英君

・泉さんと堀さんと遊んできました。無事に帰れたのが不思議な位の珍道中でした。内田 久利君

・敬老のお祝品をいただき、有り難う御座いました。森 恒夫君 森 真佐雄君 守谷 巖樹君

鈴木 圓三君 布目 徳君 山田 鎮浩君

西 初彦君 江口 金満君

・遠山会長、高村さん、昨日の応援有り難うございました。入山 治樹君

幹事報告

天野正明幹事

・本日13時35分より4階「梅の間」にて推薦小委員会を行います。関係各位はご出席下さい。

・次週9月28日(木)は卓話時間内にホテル事業継続について討論会を開催します。皆様の活発なご意見をお願いします。

・10月12日(木)は例会終了後、「まつたけ料理を楽しむ会」が開かれます。ご参加をお待ちしています。

地区情報

天野正明幹事

地区社会奉仕委員:稲葉 徹君

9月14日(木) 地区社会奉仕委員長会議に出席しました。

名古屋熱田RAC挨拶

名古屋熱田RAC前年度会長:南 興助君



皆様こんにちは。私ども熱田RACは提唱4RCのご協力・サポートなくしては、活動を続けていく事は困難です。前期は私が会長を務めさせていただき、地区代表を私どもが担当しましたが、1年無事にやり遂げる事が出来ました。地区代表を務めた影響からか、会員の数が増えています。年齢も若い方から30才まで、幅広い活動の中で切磋琢磨しながらお互いに協力し合い、いよいよ仲間を見つけた事が出来ればと思い活動をしております。これから益々発展していくためにも、皆様のご協力をお願いいたします。本日は有り難うございました。

名古屋熱田RAC2006~07年度会長:古屋 佳菜子さん



皆様こんにちは。名古屋熱田RACで今期会長を務めさせていただいております古屋佳菜子と申します。昨年度は年次大会という大きな大会でのホスト役を任せられ、多大なるご支援を頂きまして誠に有り難うございます。また、日頃からRACへご協力いただきまして、この場を借りて御礼申し上げます。今期が始まり、3ヶ月が経ちました。新たに13名の新入会員を迎え、会員数が大幅に増えました。現在は34名で活動しております。会員数が増加したのは、諸先輩・RCの方々のご協力の賜物だと思っております。ただ、またいつ会員数が減少するともかぎりません。ですので皆様のお知り合いや、RACに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけたらと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。

長期ビジョン委員会 座長:大島浩嗣君

皆様にクラブテーマを募集しましたところ、6作品頂きました。それを元に9月14日の長期ビジョン委員会において検討しました結果、「熱田の杜、友愛、気品」という原案が出来上がりました。その後、第3回理事会にこの案を提案を致しましたところ、様々な意見が交わされました。簡潔明瞭でクラブの求める理想の姿が想起出来る文面という事で、原案は天、地、人の三位一体という考え方を取り込む事によって、トータルなイメージを喚起し、クラブテーマにつなげてはどうかという考え方を元に委員会で作られております。皆様方には一つの案を元にして、さらによりテーマが頂けたらという事で、ご提案を申し上げるところでございます。本日は皆様のテーブルの上に3枚ずつ資料が置いてありますので、お目通し頂き、よりよいテーマを頂けたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

親睦活動委員会:内田久利委員長

本日メールボックスに松茸料理を楽しむ会のご案内が入っております。日にちは10月12日、例会終了後にバスで目的地に向かいます。50人乗りのバスをチャーターしております。人数が少ない場合は一人あたりの負担額が高くなりますので、その辺りも考慮いただきごぞつてご参加いただきますようお願いいたします。

卓話 NPO法人日本車いすダンススポーツ連盟理事 恒川陽子様

「車いすダンスを通して、真のバリアフリー社会づくりを目指す～活動を通して見えてきた事～」



車いすダンスと聞いて、ご存じの方は少ないと思います。どういったものか、ご説明申し上げますと、社交ダンスを基本として、健常者と障害者が共に踊ります。

私が車いすダンスに出会ったきっかけは、私の長男が幼い頃に大病を患い、生死をさまよっていましたが一命を取り留めました。そしてその時の感謝の気持ちを、何か社会に恩返しが出来たらと強く思っていました。子供が成長した時に社交ダンスを再び始め、車いすダンスがあるという事を知り、講習会に参加しました。自分の今までの経験から、ある程度、障害者に対する知識、あるいはダンスの技術は持っていると思いましたがそこへ行きますと私の障害者に対する考えや、ダンスの技術は通用しないと感じました。その時に自分の無力さや、障害者へ対する理解のなさを痛感いたしました。そしてまず、彼等と一緒にやってみようというところから始まり、一緒に楽しもう、一緒に理解し合おうと思いました。

今、障害者を取り巻く環境は以前に比べると格段よくなっておりませんが、心のバリアフリーは日本人の中にまだまだ浸透していないと感じております。障害者用の駐車場に、健常者が車を止めてしまったりというように、いざ障害者が使おうと思っても、使用出来ないという事が本当に多いです。障害者に対する思いやりの心があればそういった事は起きないはずですが、ですから私は心のバリアフリーが大事だと、この障害者スポーツを通していつも思っております。

このダンスが、障害者にとりましてはリハビリという事で大変素晴らしい効果が現れております。スポーツをしますと、今まで使わなかった筋肉を使うので、日常生活も変わってきます。そしてもう一つは心のリハビリです。今まで障害者として、密かに目立たないように生活していたのが、人前に入る事によって自分の存在価値・意義を認め、自信が出てきます。私は車いすダンスを通して、障害者の方々そういったものを感じ取っていただければと考えておりますし、我々健常者自身も障害者の方から元気を頂いていると思っております。

今後、私が取り組んで参りたいと思っておりますのは、子どもたちに障害者に対する教育をしていきたいという事です。普段からいつもそばに障害のある子がいるという経験をさせた方が一番良いのではないかと考えております。車いすダンス連盟のビジョンとしましては、車いすダンスを日本の文化、あるいは国際的なスポーツとして、障害者に対する認識を広め、誰にも優しい環境を創造していく事が出来ればと考えております。人としてのふれあい、生き甲斐、生きる喜びを実感出来る社会づくりに貢献していきたいと思っております。

今週行事

9月28日(木)

ホテル事業に関する討論会

次週行事

10月5日(木)

ガバナー補佐訪問